

【調査概要】

「日進市空家の適切な管理に関する条例」 に関する意識調査

名古屋学院大学 上山仁恵

2019年3月13日

1. 調査票回収状況と回答者の属性

エリア	全体	岩崎台	五色園	日東東山	南ヶ丘
配布数	4500	1590	1600	630	680
回収数	983	253	352	213	165
回収率	21.8%	15.9%	22.0%	33.8%	24.3%
平均年齢	64.3歳	59.6歳	65.8歳	66.6歳	65.3歳
平均居住期間	27.6年	20.8年	29.2年	30.7年	30.8年

注1) 日東東山は5丁目・6丁目のみ（市街化区域、及びそれに準じる区域のみ）

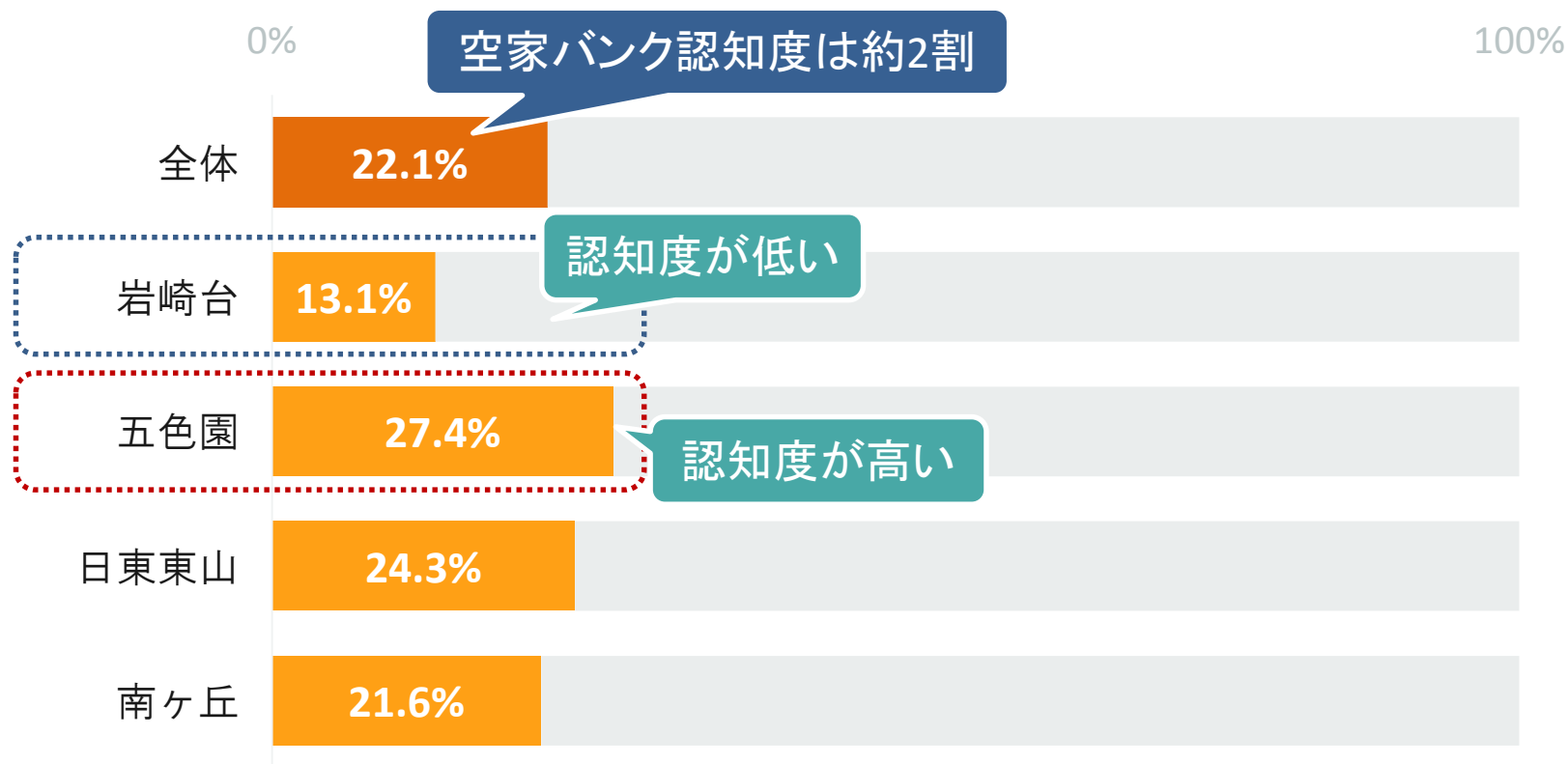
注2) 調査対象：戸建居住者（共同住宅・店舗兼住宅は除く）

注3) 配布期間：2018年10月20日(土)～27日(土)

参考) 2018年10月1日現在、各エリアの平均年齢は、岩崎台38.4歳、五色園48.1歳、日東東山48.8歳、南ヶ丘48.0歳である（日進市統計資料より）

2. 日進市空家バンクの認知度

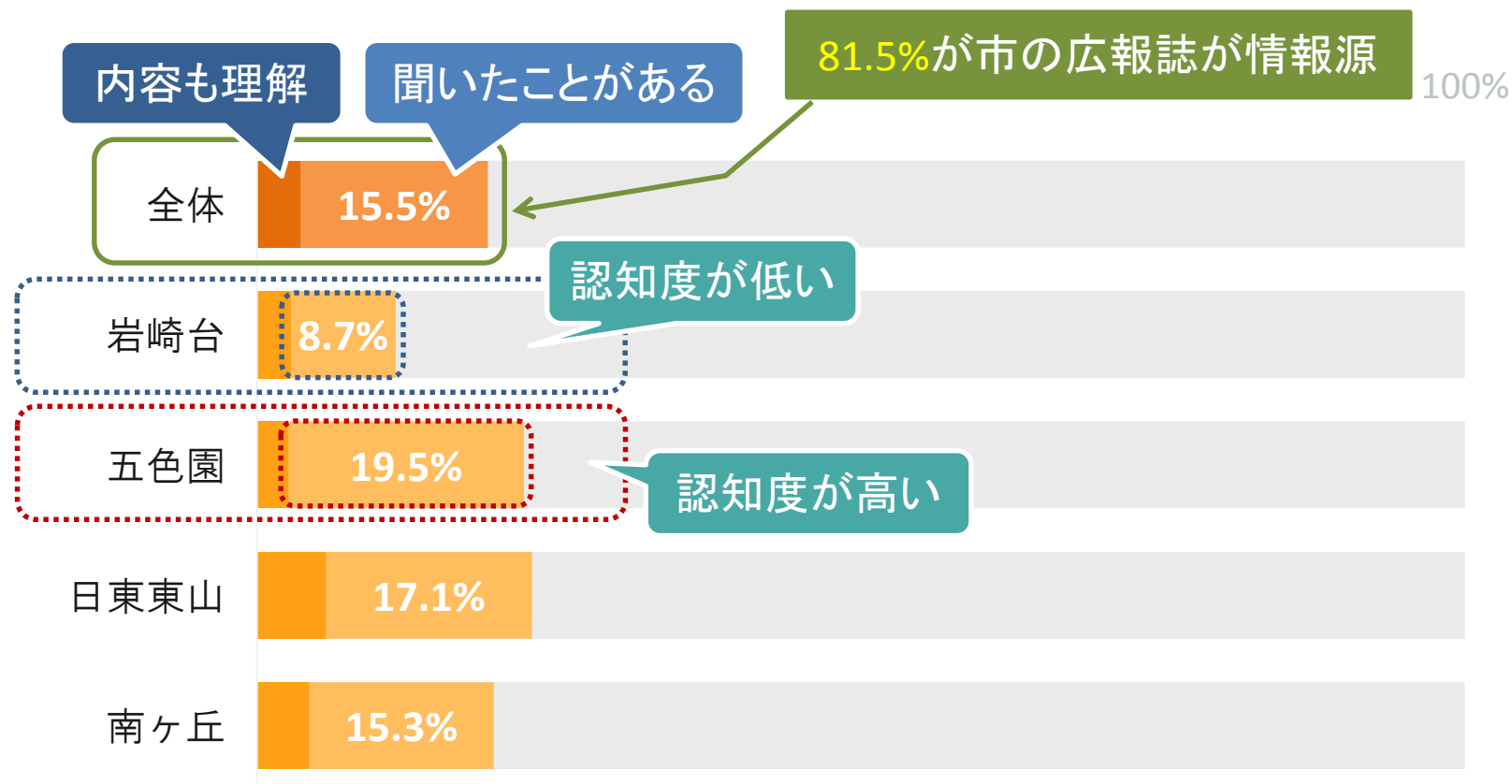
※「認知率」とは日進市空家バンクについて「知っている」と回答した割合



統計分析の結果より、五色園の認知度が有意に高く、岩崎台の認知度が有意に低くなっている。

3. 日進市空家の適切な管理に関する条例の認知度

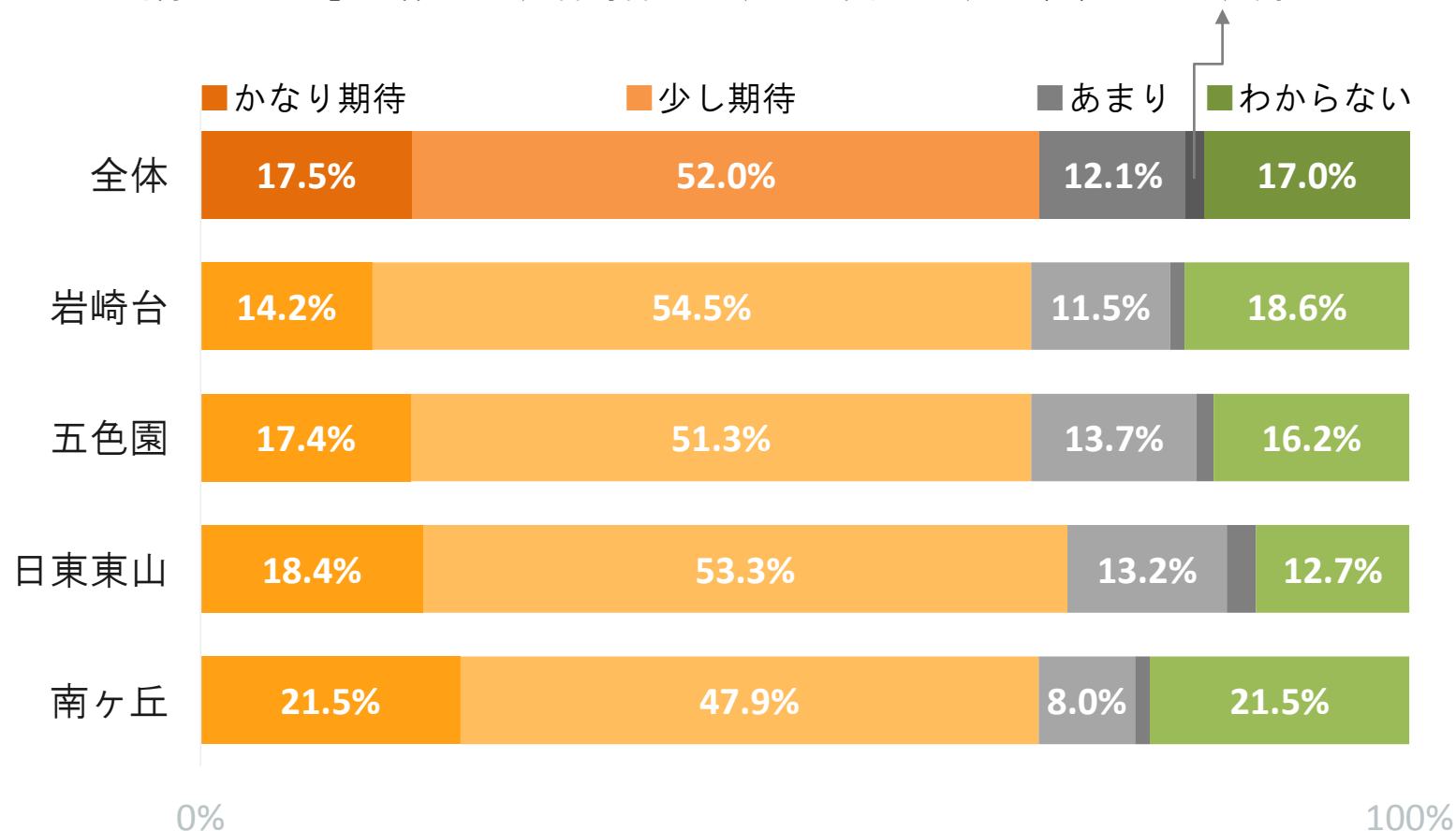
※「内容も理解」は全体3.6%、岩崎台2.8%、五色園2.6%、日東東山5.7%、南ヶ丘4.3%



統計分析の結果より、内容も理解している人はエリア別で統計的な有意差は見られないが、聞いたことがあるというレベルでは、五色園の認知度が有意に高く、岩崎台の認知度が有意に低い。

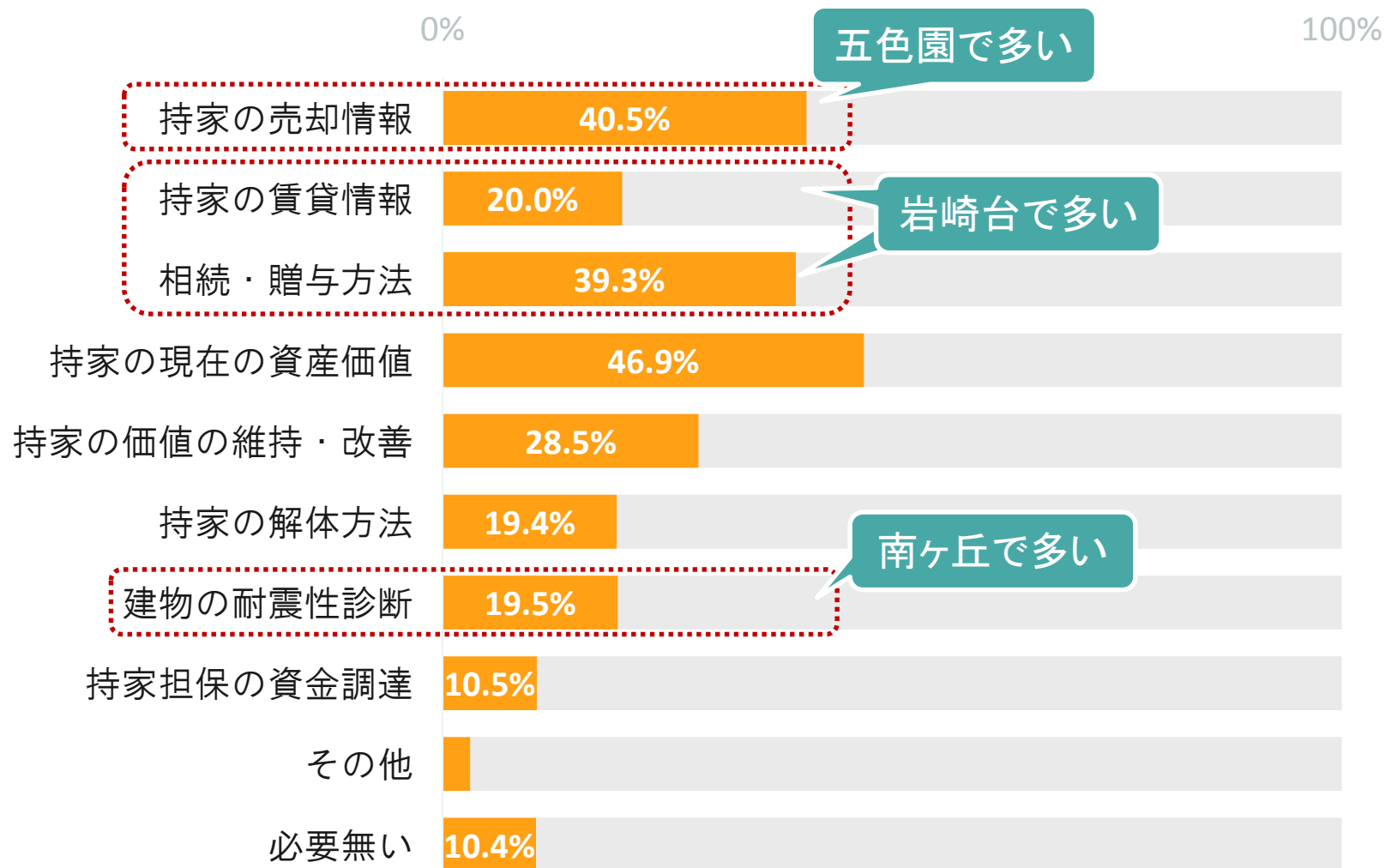
4. 日進市空家の適切な管理に関する条例に対する期待度

■は「全く期待できない」全体1.5%、岩崎台1.2%、五色園1.4%、日東東山2.4%、南ヶ丘1.2%



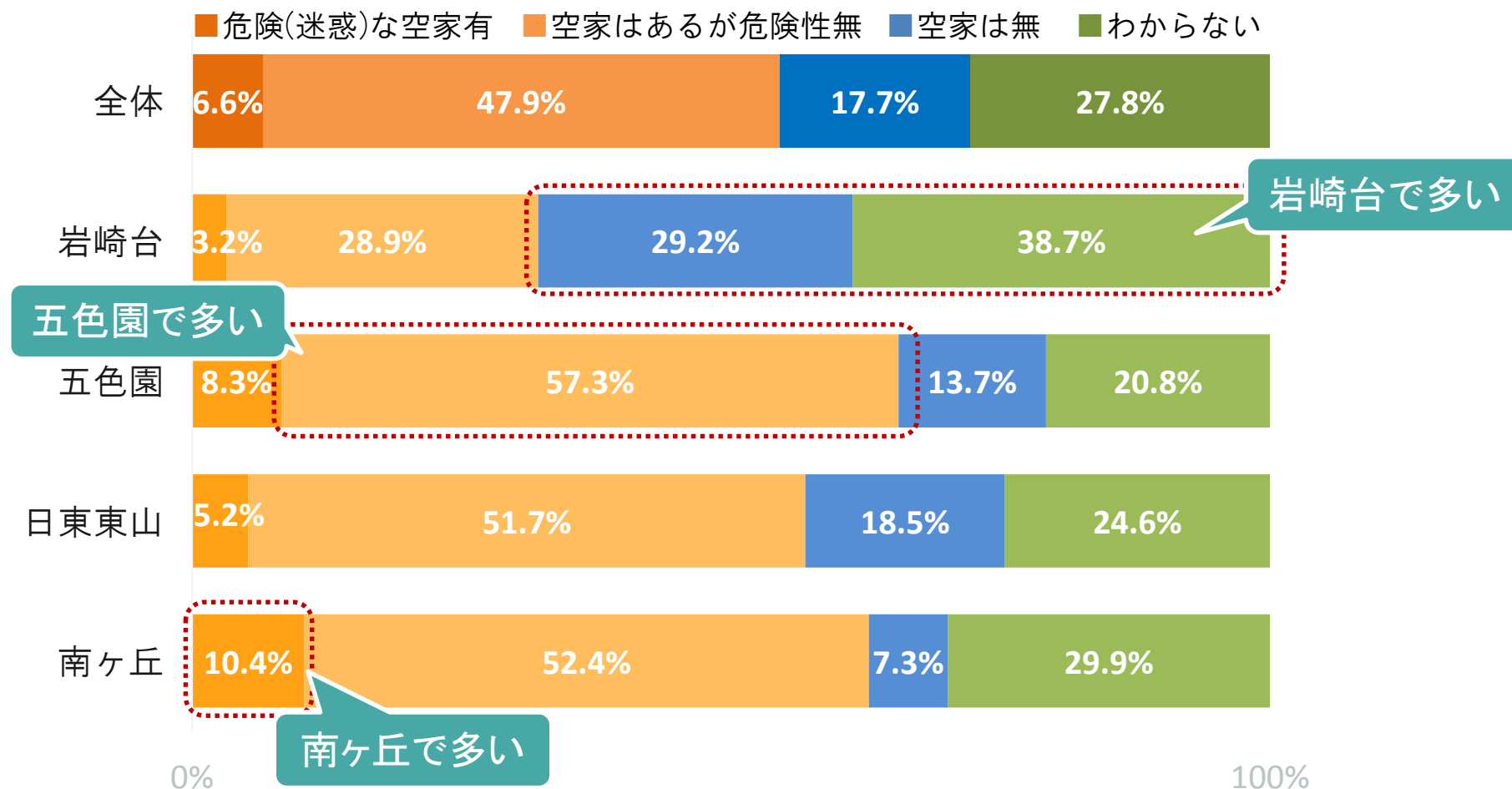
いずれのエリアでも約7割が期待しており、期待していない比率は1割程度である。
エリア別で条例に対する期待度に統計的な有意差は見られない。

5. 持家について必要な情報・サービスの種類



半数近く(46.9%)が持家の現在の資産価値について知りたいと希望している。

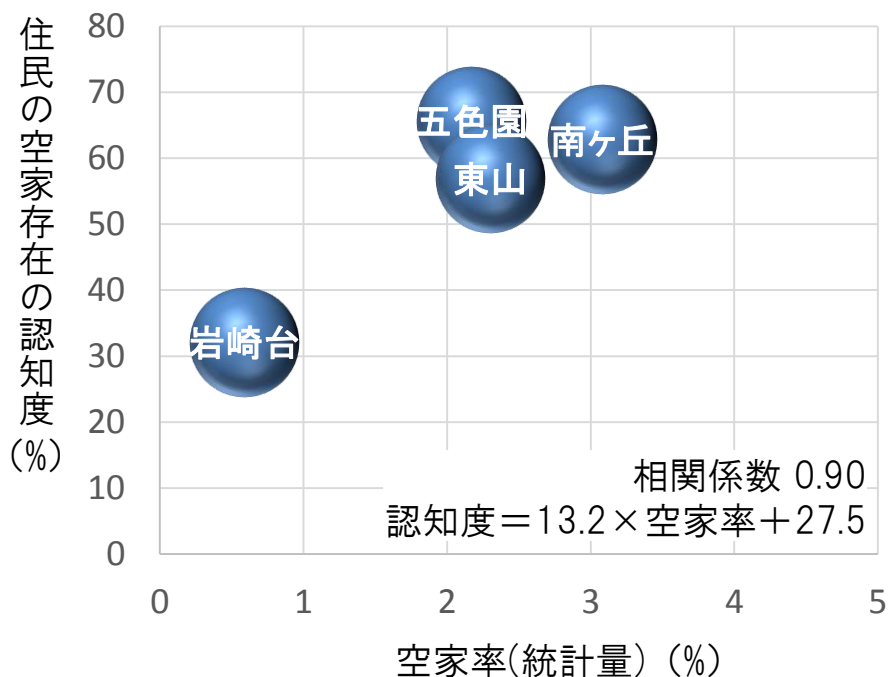
6. 住民の住居エリアにおける空家の存在の認知度



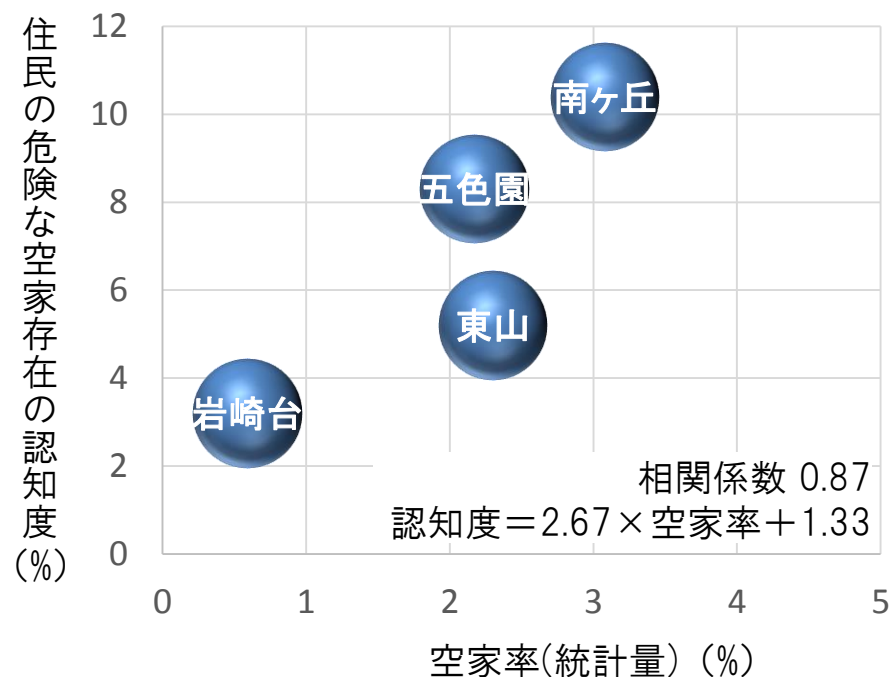
「危険な空家」の存在の認知度は南ヶ丘で、「危険性を感じない空家」の存在は五色園で、「空家はない・わからない」は岩崎台で有意に多い。

7. 空家率(統計量)と住民の空家の存在認知度(住民意識)との関係

空家率と空家存在認知度の関係



空家率と危険な空家存在認知度の関係



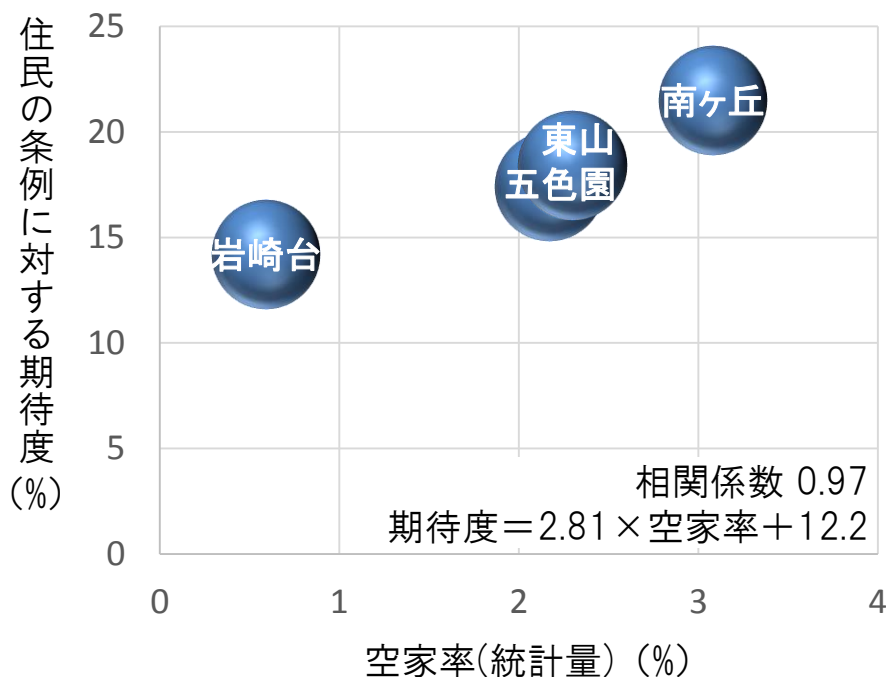
例えば、住民の半数が危険な空家を認知する空家率は18.2%と試算される。

注1) 空家存在認知度は「危険(迷惑)な空家がある」と「空家はあるがまだ危険性はない」の計。

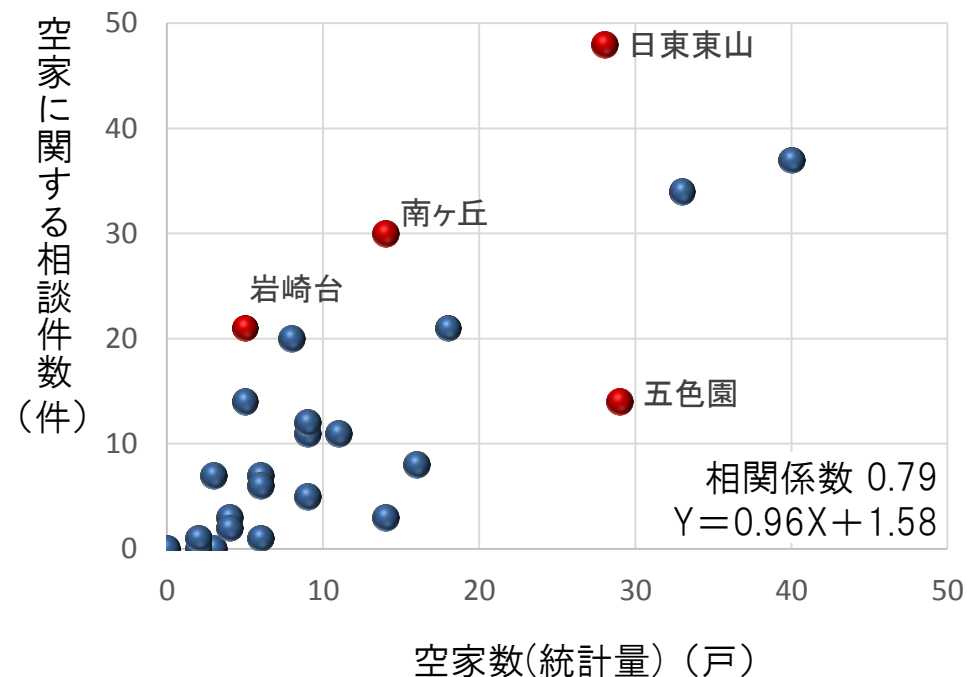
注2) 空家率(統計量)は「H27日進市空家等実態調査」より。空家は現地調査等から判定したもの。

8. 空家率と住民の条例に対する期待度との関係

空家率と条例に対する期待度との関係



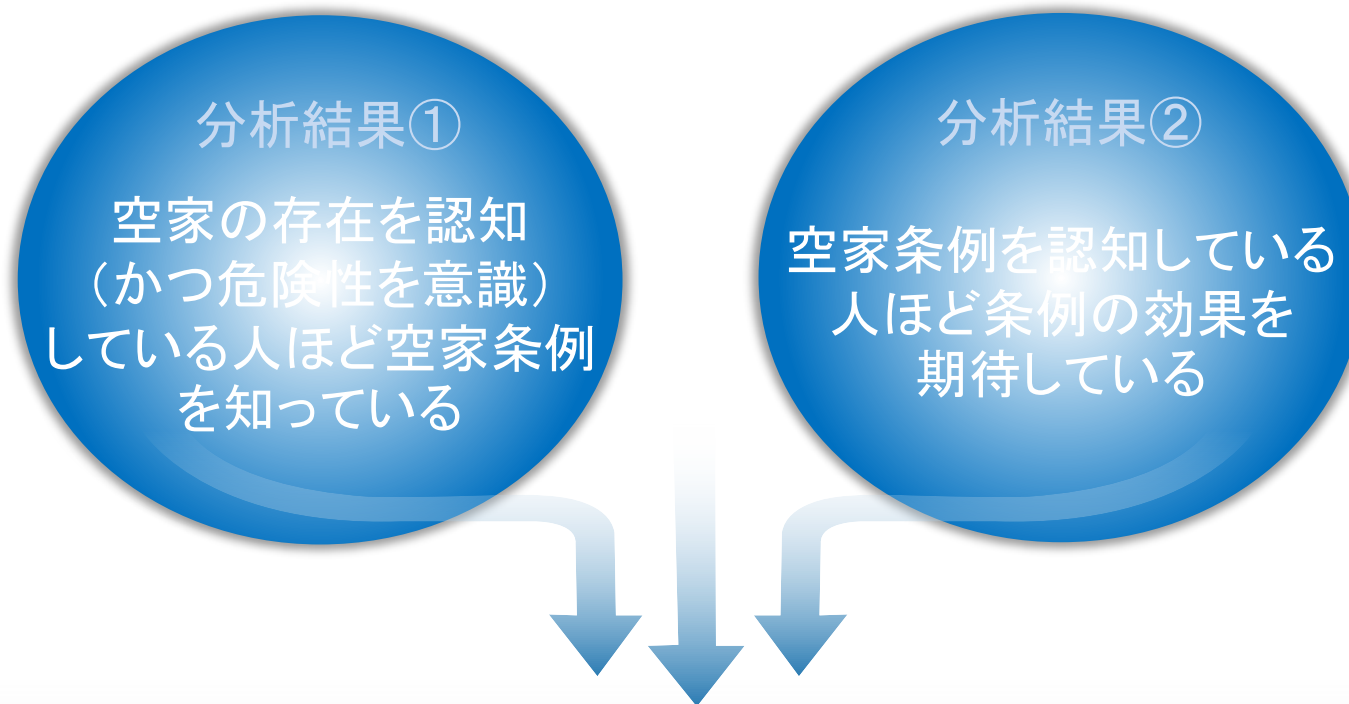
空家数と空家相談件数の関係



空家率が高いほど空家条例に対する期待度が高い。空家数と相談件数は比例して増加。

※住民の条例に対する期待度は条例に対する「かなり期待できる」の割合

9. 個票データを用いた分析結果とインプリケーション



今後、空家の増加に伴い住民の自治体に対する期待度は益々高くなる。

自治体と地域住民の連携した空家の抑制対策が必要。